

# 2017 年度「経済的な困難を抱える子どもたちの学び支援活動助成」 助成団体選考結果のご報告

2017 年度「経済的な困難を抱える子どもたちの学び支援活動助成」につきまして、助成団体が決定いたしましたので、ご報告いたします。

## 今回の助成について(第 4 回概要)

募集対象	経済的な理由により学習に困難を抱える子どもたちの意欲を高め、学習に取り組む手助けとなる団体の活動
募集期間	2017 年 11 月 20 日～2018 年 1 月 5 日
助成金総額	2,000 万円以内
応募数	77 件
採択事業数	12 件
金額	計 20,568,734 円
助成対象となる活動期間	2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日
助成選考委員会	助成選考に際しては、本テーマに関して専門的知見を持つ 4 名の助成選考委員(当財団理事 1 名と外部有識者 3 名)で組織する助成選考委員会にて、当財団の助成目的に基づき、厳正な審査を行った。

## 助成選考委員長より

本助成は、経済的な理由により学習環境に困難を抱える子どもたちの意欲を高め、学習に取り組む手助けとなる事業を対象としたもので、4 年目の実施となります。

昨年の応募 101 件に対し、今回の応募は 77 件でした。子どもの貧困問題への社会的認知と各地域での取り組みが広がる中で、活動の担い手への助成など行政や民間からの支援が広がりつつある実態を反映していると考えます。

また、応募のあった事業内容には、全体として事業内容の広がり・多様性を感じました。各団体が日々の活動の積み重ねを背景に、子どもを取り巻く課題により深く向き合った結果と捉えています。

選考においては、課題解決にむけた問題提起やユニークな視点を含んだ事業として、同じ課題に取り組む人たちが参考にできるモデルとなることが期待できることを特に重視しました。

その結果、学校や他団体などを巻き込んだ地域モデル作り、非認知スキルを育てる試み、支援する年代の拡大など、従来の「居場所」「学習支援」活動からさらに踏み込んだ試みを多く採択することとなりました。

助成採択にあたって団体から寄せられたメッセージにも多くの表明があったように、今回の採択団体は、課題解決のひとつのモデルとして、他の地域につながっていくことを意識しておられます。当助成でも、単に助成を行うのみでなく、助成先同士の交流会や現場の視察などを通じて、情報共有・学びあい・連携を促すことで、積極的にサポートしていきます。

公益財団法人ベネッセこども基金  
理事・助成選考委員長

耳塚寛明

## 助成先団体および助成対象となる事業

No.	団体名(50音順)	事業名	都道府県	助成額(円)
1	認定特定非営利活動法人茨城NPOセンター・コモンズ	不登校、不就学を防ぐため外国籍児童生徒などを対象にした学びの場作り	茨城県	1,980,000
2	特定非営利活動法人いるかねっと	市営団地における小中学生を対象にした居場所事業「まなび場」の創設	福岡県	2,000,000
3	特定非営利活動法人仕事工房ポポロ	義務教育終了後に社会との接点を失い、適切な学習環境を得られていない子ども・若者への支援事業	岐阜県	2,000,000
4	特定非営利活動法人 STORIA	① 子供の「社会情緒的スキル(非認知的スキル)」を育む体験学習プログラムの開発事業 ② 子供の「社会情緒的スキル(非認知的スキル)」を育むための保護者の子育てスキルアップ事業	宮城県	1,802,300
5	特定非営利活動法人ハーフタイム	葛飾区における生きづらさを抱えた子どもたちへの寄り添い事業	東京都	1,272,500
6	特定非営利活動法人 HUG for ALL	【児童養護施設 児童向け】学習支援・進路支援事業	東京都	1,940,000
7	認定特定非営利活動法人 浜松 NPO ネットワークセンター	はままつ子どもの学び支援&セーフティネット強化事業 2018	静岡県	2,000,000
8	ブルーミングネットワーク / TEAM	高校生による学習塾運営と地域振興活動の推進	東京都	1,800,000
9	一般社団法人 みらい TALK	生活困窮家庭学習支援事業	静岡県	1,160,000
10	特定非営利活動法人もりおかユースポート	学びとくらしの力を育む学習プログラム	岩手県	2,000,000
11	特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば	学校連携・地域福祉型学習支援モデル推進事業	京都府	1,123,934
12	特定非営利活動法人 ユースコミュニティ	経済的ハンデを抱える高校生世代の学習支援事業	東京都	1,490,000
合計				20,568,734

認定特定非営利活動法人茨城 NPO センター・コモンズ	
URL	<a href="http://www.npocommons.org">http://www.npocommons.org</a>
申請事業名	不登校、不就学を防ぐため外国籍児童生徒などを対象にした学びの場づくり
メッセージ	<p>常総市の人口の7%は日系ブラジル人、フィリピン人などの外国ルーツの方で、私たちは9年前からその子どもの就学や学習の支援、進学支援を行ってきました。日本育ちでも学習言語を身につけることは難しく、中学校で不登校になる子が少なくありません。そこで平日毎日来られる場としての学童保育、来日後小中学校に入る前に日本語初期指導を行うプレスクール、さらに不登校になっても家から通って来られる居場所を作ることを決意しました。3年前の水害で空家になった民家を多世代多文化の拠点として再生させるべく頑張っています。</p>

特定非営利活動法人いるかねっと	
URL	<a href="http://manabiba-sharing-knowledge.org/">http://manabiba-sharing-knowledge.org/</a>
申請事業名	市営団地における小中学生を対象にした居場所事業「まなび場」の創設
メッセージ	<p>助成委選考委員の皆様、事務局の皆様、この基金に寄付を頂いた皆様に深く子供たちや団体を代表して、感謝の意を表させていただきます。</p> <p>また、ベネッセこども基金が無ければ、今の幣団体は無かったと考えています。皆さまには感謝の言葉しかございません。</p> <p>昨年度は、学習支援教室を2か所から17か所に拡大し、独自事業としてマナビバ全体で延2500人弱の子ども達に無償で学習を提供することができました。</p> <p>昨年実施している子ども食堂だけでなく、中学生キャリアガイダンス、行政情報、奨学金情報を集めた冊子の発行も行い子ども達へのフォロー体制も充実してきています。</p> <p>今年度は、福岡市でこどもの居場所事業が廃止になることを受け、その継続の為の資金を助成申請させて頂きました。いるかねっとのマナビバを含めた子ども事業では、「こどもの貧困という言葉自体をなくす」と決めました。こどもの居場所事業においてもミッションに基づき助成に恥じぬように福岡や九州の子どもたちの為に、これからも精一杯、いるかねっと一同頑張っていきたいと思っております。</p>

特定非営利活動法人仕事工房ポポロ	
URL	<a href="https://popolo.qloba.com/">https://popolo.qloba.com/</a>
申請事業名	義務教育終了後に社会との接点を失い、適切な学習環境を得られていない子ども・若者への支援事業
メッセージ	<p>当団体は、30年以上前から不登校支援を実施してきた「べんぽすた」という団体を前身として、2008年よりひきこもり状態にある若者たちへの支援もスタートするようになり、法人化し活動を続けてきました。家族や本人に対する、訪問も含めた個別支援を入り口にしつつ、手紙を通じたピアサポート、フリースペースの開室、独自の仕事づくり、家族会、ニュースレターを通じた誌上交流会など、多岐にわたる活動を展開しています。</p> <p>そして2010年からは、貧困状態であったり発達の特徴があったりすることで、家では落ち着いて勉強ができない子どもたちのための学習支援もスタートさせ、2014年からは同じく学習支援をしていた他団体とともに、ぎふ学習支援ネットワークを立ち上げ活動をしてきました。ぎふ学習支援ネットワークは、設立当初よりこのベネッセこども基金で支えていただいております。おかげさまで、いまだ不安定ながらもどうにか運営できています。</p> <p>ぎふ学習支援ネットが始まって最初の中学3年生は、既に高3の卒業を迎えており、この間「次の進路をどうするか」という相談にも乗ったりしてきました。また、その時々メンバーにもよりますが、高校進学後も続けて学習支援の場に顔を出してくる子どもたちも年々増えており、なかには学校を中退して行き場を失っている子もいたりします。</p> <p>ただ、日々の学習支援はどうしても中学生や小学生が主たる対象となるため、高校生への対応はおざなりになりがちです。また、高校生年齢の子たちが出してくるSOSは多岐にわたり、既存の「学習支援スタッフ」だけで対応するのは難しい状況も散見されています。</p> <p>そこで、夜間あるいは土曜の学習支援という場だけでなく、別途高校生年齢向けの支援を用意していくことが必要ではないかということになり、もともと若者支援を実施してきた当団体が本事業を企画立案し、実施していくこととなりました。</p> <p>国の生活困窮者支援制度においても、2018年度以降は高校生年代への対応を進めていくということが言われておりますし、各地各現場でも同様の課題が出てきているものと思われまます。そうした取り組みのモデルとなるよう、事業を進めていきたいと思っておりますので、よろしく願います。</p>

## 特定非営利活動法人 STORIA

URL

HP

<http://www.storia.or.jp/>

Facebook

<https://www.facebook.com/storia.japan/>

申請事業名

①子供の「社会情緒的スキル」を育む体験学習プログラムの開発事業

②子供の「社会情緒的スキル」を育むための保護者の子育てスキルアップ事業

メッセージ

私共 STORIA は、貧困の世代間連鎖を断ち切ることを目指し、2016年4月に発足いたしました。現在は、経済的困難を抱えた小学生を対象に、「困難を乗り越え生き抜く力」を育む子どもの居場所づくりを行っています。

地域や企業と協働しながら、「食育・学習支援・体験学習」を実施し、子供たちの「自己肯定感」と「考える力・伝える力・協働する力」を大切に育んでいます。また、保護者には家庭支援を行いながら、包括的な見守りも行っています。

子どもの貧困という社会課題は、「子供の健全な発育を妨げる」とともに、「生きるために必要な自立する力（\*認知的スキル・社会情緒的スキル(非認知的スキル)）」が生まれにくく、その結果、貧困が連鎖する事態が起きていると私共は考えております。

本助成金による活動においては、子供の「学習支援」「体験学習」に焦点を当て、

子供の「生きる力を育むコンテンツの開発」と、「コンテンツを実施できる人材の育成」を行って参ります。

また、親御さんには子育てサポートやピアカウンセリングできる場を同時に作り、家庭を包括的にサポートできる仕組みを作っていきます。

本助成事業で構築できたプログラムについては、ノウハウの蓄積・効果測定を行いながらモデルとなる事業を確立いたします。確立後は、このノウハウを広く共有させていただき、他団体や他法人などと連携・協働を深めながら「子どもの貧困」という社会課題の解決を多くの方々と目指して参りたいと思っております。

今後とも、お力添えいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 特定非営利活動法人ハーフタイム

URL <http://halftime2010.wixsite.com/halftime>

申請事業名 葛飾区における生きづらさを抱えた子どもたちへの寄り添い事業

### メッセージ

当会は、主に東京都葛飾区において、経済的困難を始め、さまざまな生きづらさを抱えた子どもたちに寄り添い活動を行うべく、2010年に発足した団体です。発足当初は任意団体でしたが、2017年4月からはNPO法人として活動しています。

近年、「子どもの貧困」というキーワードに対して社会的関心が高まっているように、そうした経済的困難を抱える子どもは地域に一定数います。そして、そうした子のなかには、虐待、いじめ、不登校、引きこもり、障害、非行などその他のさまざまな生きづらさが複雑に絡み合い、基本的な安心感を得られる居場所がなく、自己肯定感も低く、将来に対して悲観的になってしまっている子どもも存在します。当会ではそうした子どもたちに対して、関係行政機関・団体と連携しながら、継続的な寄り添い活動を実施しています。

複雑に絡み合った生きづらさにも向き合い、一つ一つ時間をかけながらその生きづらさを乗り越えていくことで、子どもたちは少しずつ前向きになれるようになっていきます。「学校には行けないけれどハーフタイムのところになら行ける」、「一緒に勉強をしたことで私も高校に行けるかも！行きたい！」、「一生懸命勉強して私も大学に行きたい！」など、寄り添い続けることで子どもの肯定的な変化を垣間見れることもあります。

この度の助成金を大切に活用させていただきながら、子どもたちが抱える生きづらさを、子どもたちとともに一歩ずつ乗り越えていきたいと思っています。今後とも皆様のお力添えを賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



## 特定非営利活動法人 HUG for ALL

URL <https://www.facebook.com/hugforall.org/>  
<http://hugforall.strikingly.com/>

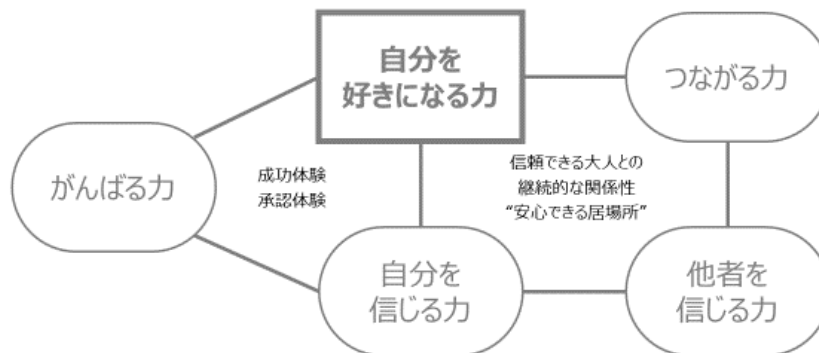
申請事業名 児童養護施設 児童向け:学習支援・進路支援事業

メッセージ HUG for ALL は、児童養護施設で暮らす子どもたちが、一つでも多くの「安心できる居場所(≒関係性)」を持ち、施設での生活を経て、これからの社会を生き抜く「生きる力」を育むために活動を行っています。

全国の児童養護施設で暮らす子どもは約3万人。私たちは彼らが「主体的に、自分のために、頑張り続けられる力」を培うために、安心できる居場所と、学びの機会・支援を通じた成功体験・承認体験を提供していきたいと考えています。

### ▼HUG for ALL で目指す「生きる力」

## 主体的に、自分のために、頑張り続けられる力



これまで、HUG for ALL では、いわゆる「学校の成績」の向上のため、デジタル教材を用いた学習支援事業に取り組んでまいりました。学習支援を通してテストで初めて高得点を取った子どもが学びへの意欲を見せ始め、学校の成績が向上するなど、実際に子どもたちにも変化が起きています。

しかし、それだけでは、様々な子どもたちの「生きる力」を高めることは難しいということも、これまでの活動を通して見えてきました。

今年度は、これまでの学習支援をベースとしつつ、子どもたち向けの新たな支援の形を検討し、子どもたちの「生きる力」を育む仕組みを設計していきたいと考えています。具体的には、子ども自身の好奇心やワクワクする気持ちをもとにした主体的な学びの機会の提供、子どもの「好き」や「得意」を探る様々なワークショップ、また、それらを踏まえて将来を考える進路支援などを開発していく予定です。

また、多くの子どもたちにこの仕組みを届けていくために、まずは今年度、ボランティアの方々へのフォローも含めた運用構築に注力し、次年度以降の事業拡大のための地盤固めを行ってまいります。

まだまだ発展途上の団体ではありますが、これからも引き続いてのご支援をいただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

認定特定非営利活動法人 浜松 NPO ネットワークセンター	
URL	<a href="http://www.n-pocket.jp/">http://www.n-pocket.jp/</a> ブログ「ぽけっとのなかみ」 <a href="http://npocket.hamazo.tv/">http://npocket.hamazo.tv/</a>
申請事業名	はままつ子どもの学び支援&セーフティネット強化事業 2018
メッセージ	<p>2016年から1年半、アウトリーチ型(家庭訪問型)の学習支援に取り組み、また地域の支援団体・機関、学校、専門家との連携を図ってきて、子ども支援をめぐる課題やポイントが見えてきました。</p> <p>今後は、浜松地域に支援団体や支援者、関心を持つ人が増えてきたこともふまえ、地域連携をさらにすすめ、経済的困窮の子どもに限らず、様々な子どもたちを地域社会で見守り支える「新しい共助の形」を目指して、地域力の向上に取り組んでいきます。</p> <p>そのために、支援者のスキルアップや共有理解を図る研修や、支援者・理解者をつなぐ機会をつくることで、子どもをとりまくセーフティネットを強化していきたいと思えます。</p>

ブルーミングネットワーク / TEAM	
URL	<a href="https://shogochiba3.wixsite.com/team">https://shogochiba3.wixsite.com/team</a>
申請事業名	高校生による学習塾運営と地域振興活動の推進
メッセージ	<p>人口7500名の伊豆諸島最南端に位置する八丈島には、小中学校が各3校と校が1校あり、生徒数も少なく個別指導がなされています。高校卒業後はほぼ全員が内地に就職するか進学しており、将来の帰島について何となく考えている者が3割程度である。これは若者にとって魅力的な就労先がないことが最大な原因であり、国境離島の定住促進の観点からも若者主体の地域振興活動の推進が重要な社会的課題となっています。</p> <p>本事業では、八丈町や八丈高校と連携して高校生による学習塾運営と地域振興活動の推進を支援をおこないます。これにより離島において高校が卒業生を内地へ送り出して負けて帰ってくるというメッセージを伝える島の人口を減少させる機能を果たす機関となっている状況から、島の最高学府として島に貢献できるグローバル人材を育成する機関へと転換を目指します。そのためには高校生が主体となって小中学生に対しての学習支援や共同学習をおこなったり、島の地域活性化を目指す活動をおこなうことで、卒業して一旦島を出ても将来的に島に帰り貢献しようという意識形成をおこなうことが期待されます。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p>



一般社団法人 みらい TALK	
URL	ホームページ: <a href="http://miraitalk.net">http://miraitalk.net</a> ブログ: <a href="http://miraitalkhamamatsu.hamazo.tv/">http://miraitalkhamamatsu.hamazo.tv/</a>
申請事業名	生活困窮家庭学習支援事業
メッセージ	<p>私たちは、障がいの有無や家庭環境に関わらず、浜松市及び近隣の地域に住む全てのこどもにとってより良い未来、地域社会を築くことを目的として、こどもに関わる多職種(医師、保健師、臨床心理士、保育士、弁護士、社会福祉士など)が集まり結成した団体です。</p> <p>私たちは基金の助成を受けて平成28年11月より学習支援事業 Juice Class を開始し、2回目(昨年)の助成で週1回の安定開催や福祉タクシーを利用した送迎体制の構築、地域の主婦など社会人ボランティアを募り夕食の提供、大学生ボランティアの資質向上研修など事業の安定化を図ることができました。</p> <p>平成30年2月時点で参加している子どもは16名となり、送迎支援や夕食提供も行うことで、毎回平均13名の子どもが参加してくれています。そしてこの春には Juice Class の中学3年生4名全員が第一希望の高校に無事合格してくれました。一方、高校進学にあたり、必要な制服や教科書、電子辞書等の学用品の負担が新たにそれぞれの子どもにのしかかっています。高校を卒業し、社会人となるまで私たちの伴走は続いていきます。</p> <p>今年度の助成では、これまで私たちスタッフの専門性を生かして、大学生ボランティアを対象に行ってきた研修事業(弁護士による“子どもの権利”や臨床心理士による“子どもとの上手な接し方”など)を地域の他の団体で活動されている方々やこれから参加を検討されている方々にも対象を拡大して、地域の人材育成を行なっていきたいと考えています。</p> <p>今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。</p>

特定非営利活動法人もりおかユースポート	
URL	<a href="http://my-port.jp">http://my-port.jp</a>
申請事業名	学びとくらしの力を育む学習プログラム
メッセージ	<p>特定非営利活動法人もりおかユースポートは若者支援のNPOです。盛岡に、若者たちが社会に船出するための港を、航海の疲れを癒すための港を作りたいという想いを込めて、若者(youth)の港(port)。ユースポートと名付けました。</p> <p>平成27年度からは中学生以上の子どもの学習支援、平成28年度からは子ども食堂・放課後居場所活動に取り組んできました。</p> <p>今年度は、子どもたちがよりよく生きていく力をつけるための生活体験と小学生の学習支援に取り組んでまいります。</p> <p>できるだけ多くの子どもたちが、住んでいる地域や家庭環境に左右されずに学習の機会が得られ、自身の力と地域の支援でいきいきと希望を持った将来を夢見られるよう、環境づくりをしていきたいと考えています。</p> <p>みなさまのご支援に深く感謝申し上げます。</p>

特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば	
URL	<a href="http://www.kodohiro.com/">http://www.kodohiro.com/</a>
申請事業名	学校連携・地域福祉型学習支援モデル推進事業
メッセージ	<p>本事業は学校連携・地域福祉型学習支援として 2014 年に始まりました。学習支援の空白地域である地域において、中学生の学力向上や進路の実現を、地域の力を終結してサポートしようという思いから NPO、公共施設、社会福祉協議会が呼びかけ機関となり、学校だけでなく、自治連合会、学区社協、民生児童委員協議会、PTA などの様々な方にご協力をいただきながら実施することができるようになりました。</p> <p>実施中学校は、区内 6 つの公立中学校の中でひとり親家庭の割合が最も高く、また、生活保護世帯・就学援助受給世帯の子どもの割合が合わせて 5 割近くにのぼります。そのため、事業の「ゴール」を、子どもたちの学力向上や、進路実現だけに重点をおくのではなく、「排除のない地域づくり」により重点を置くことを決めました。本事業は、子どもたちに高校進学を保障することに加え、子どもたちがその後どんな進路をたどったとしても、地域の中で事あるごとに気にかけて、大人たちに「おせっかい」をされるような地域の関係性を、中学校を起点としてつくることができればと思います。</p> <p>子どもの貧困対策として全国各地で取り組まれている学習支援(高校進学学習サポート)において、「学校との連携」および「地域を巻き込むこと」は困難な課題であります。中学校は子どもや家庭の福祉課題を抱え込み、疲弊しつつあります。一方で、地域住民は「子ども食堂」などで幼児～小学生に関わることは増えてきましたが、中学生以上の子どもの課題には積極的に関与しない状況は変わっていません。この構図を改善するには、学校と地域の双方に同時にアプローチすることが必要であると考えています。</p> <p>この地域で 4 年間にわたり取り組んできた「放課後学習会」を「学校連携・地域福祉型学習支援」としてモデル化し、他の地域にもそのアクションを喚起していきたいと思っておりますので、応援をよろしくお願いたします。</p>

特定非営利活動法人 ユースコミュニティ	
URL	<a href="https://youthcommunity.jimdo.com/">https://youthcommunity.jimdo.com/</a>
申請事業名	経済的ハンデを抱える高校生世代の学習支援事業
メッセージ	<p>助成 2 年目になりますが、前回から少し発展したテーマでチャレンジし、再び採択いただき、大変光栄に存じます。運営面に大いに助けられると同時に、今後に向けて大きな自信にもなりました。</p> <p>非常に狭き門の中、二度もサポートしていただけるわけですから、前回以上に精進せねばとさらに身が引き締まる思いです。</p> <p>地域密着での子どもの支援をしながら、その困難を知っている立場を最大限活用し、同様の課題に取り組んでいる諸団体への架け橋となる活動を目指して邁進いたしますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。</p>